



新年明けましておめでとうございます。今年は羊年です。私が今年行ったある場所に「ひ；ひろい愛と つ；つよい心 そして、じ；じょうぶなカラダで ど；どんなことにも し；しんけん勝負！」と書いてあり、しばらくその場を離れられずに「そのとおりだ！」と納得して自分なりの決心をしました。私なりに ひつじを「ひ；品格を持ち、つ；慎みながら、じ；自立する」とアレンジしてみました。あくまでも、謙虚さは忘れず、人にも感謝しつつ頑張ろうと思います。

さて、慈愛会看護部の今年はどうのように発展するのでしょうか。ここ4年間離職率が上昇していましたが、ようやく下降してきました。離職率＝働き甲斐のある職場とも言えます。やっと、帰属意識が高まり、働き甲斐のある職場となりつつあるのではないかと考えております。看護部支援室も裏方で、人材確保・人材育成・人材活用を効率よくできるように支援しております。今年、看護職の能力開発プログラムに沿った人材（J-Seatyナース）を目指し、各個人が、自己のレベルを査定し自立していく時代です。

看護職員全員が、目標管理の徹底と互いの人材育成を実施していくことが重要です。あと大事なことは、「考え方」です。どんなに優秀な人材と人数を揃え頑張っても、そこで働く人間の考え方でその職場の成長は変わっていきます。

一人ひとりが、なくてはならない人材です。マイナスな考え方をする人は、組織に悪い影響を与えます。プラス思考で、そこで働く意味を見出し、自己の価値観を持つ人は、慈愛会の成長を促す人材です。慈愛会を離れたくなる人は、他にもっといい職場があるかもしれないと思って離れようとしています。しかし、慈愛会で遣り甲斐感を達成できないのは、組織ではなく自分の中にあるのだと気付いて欲しいのです。

平成29年度に新病院が立ち上がります。あと2年です。夢を抱いていい病院作りと一緒に取り掛かりましょう。
統括看護部長 中重敬子

看護部支援室 今後の活動計画

- 1月31日（土）第4回採用試験～看護師4名 看護補助者3名（介護福祉士・助手）受験
- 2月9日、10日～奄美病院支援活動（PNS導入 看護職員教育 目標管理について）
- 2月12日、13日～徳之島病院支援活動
- 3月4日～平成26年度第3回 看護管理者協議会開催
- 3月14日～マイナビ就職ガイダンス（鹿大で）参加
- 3月18日～ヤング10-ワーク主催合同企業説明会参加
- 3月24日～鹿児島純心女子大学ガイダンス参加
- 3月26日～3月28日 新人内定者研修実施
- 4月17日～タラ看護専門学校就職説明会参加
- 4月25日～慈愛会主催就職説明会開催
- 4月26日～SMSガイダンス参加（県民交流センター）



平成27年度は、慈愛会看護職員能力開発プログラムに沿って皆さんのキャリア開発を促しクリニカルラダーによる認定制度を確立していきます。

自己の成長をきちんと評価してもらい、自信をもっていただきたいと思います。このプログラムに沿った人材を「J-Seatyナース」と名づけました。根拠はプログラムの表紙に明記。慈愛会の看護師として、誇りを持って、日々の看護実践の中で患者さんの立場に立った質の高い看護を実施できる「ジェイ・シーティー・ナース」を目指してください。フィロソフィ検討会では、「宇宙は、進化しないことは許さない」とありました。一生私たちは進化し続けなければならないのではありませんか。共に頑張りましょう。

看護部支援室が現在取り組んでいること

強化型訪問看護ステーション構築

2025年度は、高度急性期病床は18万床に絞られ、地域に密着した病床24万床と、在宅医療・外来医療重視の時代となります。在宅で過ごす超高齢者が増加し、多死時代がやってきます。病床数は必ず減らされ、「時々入院ほぼ在宅」時代となります。そうすると、今まで病院で回復している様子観察の患者さん方が、在宅で回復することになります。従って24時間体制の訪問看護が必須になります。今まで病院の中でしか働いてこなかった看護師は、訪問看護も体験し、訪問看護の醍醐味を実感しておくことが大事です。慈愛会には、訪問看護ステーション愛の街があるのです。その法人の訪問看護を皆がもっと活用し、急性期病院との連携を強化して欲しいと思います。

24時間体制の訪問看護ステーションを強化していきます。皆様の働く場所の拡大です。昨年看護部支援室も同行訪問を体験しました。看護の手と目と感性！本当に凄い看護をしていました。フィジカルアセスメントを確実にを行い看護判断をしてケアをしていく。変化を見落とさず患者さんを深刻な事態に落とさないように観察していることがよく分かりました。是非、訪問看護を体験し地域に密着した看護をしていきましょう。

排便誘導中 この後快適な腹部状態となる



健康状態問診中 この後生活指導実施

臨地実習あり方検討会

看護学生は、今も昔も同じように臨地実習をしております。時代と共に実習の範囲が縮小され、「使える看護師の育成」から「患者さんの全体像を捕らえじっくり看護過程を展開できる育成」へと変わってきました。臨床指導者も学生に求める範囲が変わり戸惑い、計画発表というスタートから実習が始まることに煩わしさもあり、教員を頼ってしまう傾向にあります。教員も学生を手放せず、まるで、保護者のような気持ちで実習に付き添っている実態があり、あるべき姿になっているか、今立ち止まって振り返り、学生の実習環境のあり方を模索しているところです。



【ナイチンゲール名言】
どんな仕事をするにせよ、実際に学ぶ事ができるのは現場においてのみである。

学生がのびのび実習できる環境とは・・・？

看護管理者任用候補者選考終了

平成26年度の看護部支援室の大きな目標であった、この研修は、慈愛会独自のテキスト作成から講師依頼、プログラム構成、研修後の筆記試験、面接など盛りだくさんの内容でした。今年度は、職場長推薦という形が多かったのですが、6年目以上の看護師33名が受講されました。

事前レポートから研修が始まり、3.5日の講義、そして試験。33名の真剣なまなざしと真摯な受講態度がとても頼もしく思えました。筆記試験・面接後に今村理事長先生の面談を行いました。理事長先生からも、慈愛会の中堅層は優秀な人材が埋もれている。今回は発掘することができた。皆とても良い人材だと言っていただきました。この方々の27年度のご活躍を大いに期待致します。



看護職員募集パンフレット作成中

各施設、看護部長さんのご協力のもと、看護職員のパンフレットを作成しています。

来年度の募集パンフレットの表紙は、今村病院分院の1年目看護師さんです。

4月には、ちょっぴり不安そうな表情をしていた1年目の看護師さんも、約1年経つと、このキラキラとした笑顔！！頼れる先輩たちに囲まれて実践を積み、看護師としての自信が付いてきたようです。

初心を忘れず、多くの経験をより積んで、さらに素晴らしい看護師さんになってほしいです。

2016年度 看護職員募集



慈愛会でチーム医療

左から順に
濱崎 浩弥さん
城戸 花帆さん
加藤 由貴さん
今和泉 廻花さん
鶴之園 涼さん

